

第5回尼崎市地域公共交通会議議事要旨

- 1 日時 平成30年11月1日(木)午後3時～午後3時45分
- 2 場所 尼崎市役所北館4階 4-1会議室
- 3 出席委員 17人
- 4 傍聴人数 傍聴人なし
- 5 議題

(1) 平成31年4月以降のバス路線改編案について(協議案件)

阪神バス株式会社野口委員より資料に基づき説明があった。今回のバス路線改編案については、既存バス路線の維持を基本としており、市民ニーズを捉え、選択と集中を図ったものであることから、本会として承認したということを確認し、協議を終了した。

○平成31年4月以降のバス路線改編案に対する意見等

- ・会長から平成30年7月11日に開催した尼崎市地域公共交通会議第1回部会において、今回のバス路線改編案を承認した経緯について説明。
→22番、31番、47番、48-2番、58番の改編案については、利便向上であり問題ないとする。また、80番については南側が廃止となっているが、大部分が他路線でカバーできており、さらに、採算がとれていない路線であることから、廃止はやむを得ないと考える。
- ・22番、31番については、尼崎市総合医療センターを経由することで、大幅に利便が向上すると考える。47番については、現行の路線では15番と重複している部分があり、少し非効率な部分があったと考えるが、改編案では今年新しくできた「北雁替公園前」を通過するという点で、利便が向上し、新たな乗客の確保にも繋がるのではないかと考える。(委員)
- ・今回、80番の南側が廃止となっているが、採算性の問題もあり、持続可能性の高いバス路線という観点から、仕方がないと考える。(委員)
- ・五合橋線の「名神町1丁目」の交差点の北向き右折について、当該交差点は右折レーンが整備されており、特に問題ないと考える。(委員)

(2) 伊丹立花線の運行開始について(報告案件)

阪神バス株式会社野口委員より資料に基づき説明があった。

○伊丹立花線の運行開始についての意見等

- ・武庫之荘の地元でも、伊丹立花線ができて非常に利便が向上したという声を聞いている。(委員)
- ・現在、JR立花から阪急武庫之荘間では、利用者が少ないと見受けられるが、当該路線は利便が良いので、継続して運行してもらいたい。(委員)

(3) その他

- ・平成 31 年 10 月に予定されている消費税増税実施後の運賃制度はどのようになるのか。現段階では決まったものはないと考えるが、決まり次第速やかに公表をお願いします。(会長)
- ・ダイヤについて、JR 立花でバスが 3 両連なって運行しているものがある。わかりやすさ及び効率性の観点等から改善はできないのでしょうか。(委員)
→課題として認識している。今後のダイヤ改正等で改善が可能かどうかを含めて検討する。(委員)
- ・アイドリングストップが徹底できていないのではないかと。環境への負荷も考えていただけるとありがたい。(委員)
- ・バス事業者として、利用者の意見はどのように集めているのか。
→電話やメールなどで直接いただいている。ホームページ上でもお客様のご意見をいただくページを設けており、その情報について社内で共有している。(委員)
- ・バスの乗客で車いすをご利用されている方がいらっしゃいますが、車いすの方の移動の支援等は市で行っていないのか。(会長)
→福祉タクシーなど移動支援の制度はある。そういった制度を組み合わせることで円滑に移動していただきたいと考えている。(委員)

以 上